

アジア・ゲートウェイ構想のイメージ（たたき台）

I．アジア・ゲートウェイ構想推進のねらい

～今、日本に何が求められているか～

長い停滞のトンネルを抜け出し、未来への展望が開ける中で、「創造と成長」を目指して、世界に開かれた魅力と活力にあふれた「美しい国」を創る。

次の4つの観点からアジア・ゲートウェイ構想を推進。

1．発信する日本（日本の魅力、強みを高める）

～日本の「カントリーアイデンティティ」の確認・発信～

- ・日本には世界に誇れる自然、歴史、文化、伝統の資源が全国に豊富に存在。これらの魅力や強みを高め、「美しい国、日本」の魅力を世界にアピール。

2．開かれたアジアの成長を支える

～日本がアジアや世界にとっての中核となる～

- ・アジアが「世界の成長センター」として世界経済の発展に貢献するべく、自由と規律のある「開かれたアジア」に向け、日本は責任ある役割を果たすことが必要。
- ・企業の経済活動を原動力に、人・モノ・サービス・資金・文化・情報の流れにおいて、世界・アジアの中でしっかりと位置づけを確保することが重要。
- ・日本が先行している環境、エネルギー、防災等の分野でもアジアへの貢献が重要。

3．アジア・世界の成長を日本に取り込む

～「オープン」なくして「成長」なし～

- ・日本を「オープン」な経済社会にすることにより、アジア等海外の成長や活力を日本に取り込み、人口減少の局面でも経済成長を実現。
- ・日本において、国際的に遜色のない制度改革を進め、世界中の人々から、訪れたい、働きたい、住みたいと思われる協調的で開放的な国づくりに繋げる。

4．日本の各地域が直接アジアとつながる

～官民一体となった地域戦略の構築～

- ・日本の各地域がそれぞれの資源を活用し、アジアとの交流を深め、その成長や活力を取り込む。魅力と活力ある地域活性化を推進。

II . アジア・ゲートウェイ構想を実現するために必要なこと 《横断的視点》

1 . 日本の魅力、強みを高める ～日本らしさを世界に発信する～

国際間の交流の源となる日本文化の再生と創造
 クリエイティブな活動を促進する「日本文化産業戦略」の策定
 国際的な競争力強化を目指した日本ブランドの確立
 日本の金融資産の有効活用 など

【検討施策例】

日本をクリエイションの拠点とするための環境整備
 コンテンツの創作と流通の促進
 デザイン・建築・アニメ・音楽等のコンテンツの海外発信
 食文化、伝統文化等の国際競争力・情報発信力の強化
 国際放送の充実・強化。様々な情報発信、交流センター等の連携強化。

2 . 「開かれたアジア」の成長を支える

～オープンなアジアづくり～

対外経済戦略の強化（WTO, FTA, EPA, ODA 等）双方向のオープンな環境づくり
 各分野でのアジア公共財（共通のインフラ）の提供
 営業活動（Doing Business）や投資の環境整備
 環境、エネルギー、防災等日本が先行している分野における協力の推進
 日本とアジア諸国との相互理解・信頼醸成のための情報発信と交流拡大 など

【検討施策例】

経済連携協定の取組強化、WTOラウンド交渉の早期再開等
 技術協力（人材育成）、無償資金、円借款をはじめとする幅広い手段を活用した戦略的なODAの実施
 中小企業施策や会計基準などのビジネス環境の整備や制度インフラの提供。技術基準、標準などの作成協力。中古市場の整備。
 アジアにおける情報通信基盤の整備
 政府による海外進出企業の一層の支援とアジアの発展に貢献できる企業の国際展開・サプライチェーン構築の支援
 アジア各国における証券化商品の組成・提供の支援

中東オイルダラーをアジアに還流
 環境、安全等の先進分野での協力。大量退職期における専門家 O
 B の海外への短期派遣の拡充。
 国際文化・学術・スポーツ交流や青少年交流、姉妹都市交流の促
 進による訪日外国人の拡大、相互理解の促進

3. 「オープン」な日本を構築し、新たな創造と成長を目指す

～国内の諸制度の改善・インフラ機能の強化～

場としての日本の魅力を高めるための「オープン」な日本の構築
 国際金融機能の強化など、国内の人・モノ・サービス・資金・文化・情
 報の流れに関係する諸制度の改善
 利用者の視点に立った、ソフト施策を含めた空港、港湾、道路等
 のインフラ機能の強化 など

【検討施策例】

日本国内における国際会議の開催件数の増加（5年以内に5割増）
 訪日外国人の拡大の着実な推進（2010年までに1000万人）、中韓
 台に加え、インド、マレーシア等新規観光振興国との観光交流の
 促進
 インフラ・制度・手続・慣行・IT規格等でボトルネックのない、
 スピーディな日本とアジア物流・商流ネットワークの整備
 日本とアジアとのネットワークの質・量の充実（国際ハブ空港の
 容量拡大、アクセス時間の短縮・輸送量拡大等のインフラ機能の
 強化、国内関連インフラの整備）

4. アジア・ゲートウェイ構想を推進するための地域戦略

～官民が一体となった戦略的な地域活性化～

官民一体となった地域の知恵と工夫を活かした取組により、広く
 アジア・世界を視野に入れた地域の活性化を推進 など

【検討施策例】

海外からの投資の倍増（2010年にGDP比倍増）
 地域の優れた農林水産物や食品の輸出拡大
 地域の特色を活かした海外からの観光客誘致、地域における国際
 会議、姉妹都市・文化・スポーツ・青少年交流による外国人来訪
 客の拡大と地域活性化、世界への情報発信力の強化
 企業進出の制約になっている税制の改革

5 . アジアで、世界で活躍できる日本に向けて

～人材育成、社会・組織文化の変革～

政府、企業その他の組織、個人の全てのレベルにおいて、アジア・世界を意識した人材育成の推進

アジアにおける機動的な意思決定システムの構築

社会・組織における行動様式や組織風土の確立 など

【検討施策例】

国際的に活躍できる人材養成、国際機関への人材派遣の促進（大学の国際競争力の強化等）

留学生に対する渡日前から、語学研修、奨学金といった生活支援、希望者に対する就職支援、卒業者を含めた交流まで、一貫して産学が連携した政策を推進。人材の交流、特に高校生の留学交流促進、各国における日本文化の発信・日本語教育の強化支援

アジア連携による基礎技術等の研究開発プロジェクト等の推進。

アジアの資格要件の相互認証。国籍の如何に関わらず、活動できる環境整備。

外国人がとけ込みやすい地域づくり（官民による行政手続・公的サービス提供の支援、多言語対応の推進、居住・就労の安定化支援）

外国人受け入れのための担い手支援（地方企業、NPO等）

アジア・ゲートウェイ構想推進のポイント

- あるべき姿だけでなく、できるだけ具体的な内容についても、議論の対象とする。
- 官邸主導により、優先順位を明確にし、横断的な視点で課題解決に取り組む。
- また、構想を「画餅」とすることなく、世界の動きを踏まえてスピーディに実効性のある政策として実現するよう、機動的、戦略的に取り組む。